

黒田紙業株式会社 [製紙原料問屋、古紙リサイクル業]

廃棄物の減量と資源の再利用を使命として、あらゆる古紙を『捨てない』、『埋めない』、『燃やさない』の“リサイクル3ないシステム”の推進を理念とした活動を行い、皆様方のご期待に添った資源を大切にする社会構築を目指します。

本社

【施設DATA】

所在地：滋賀県大津市末広町4番5号

事業概要：製紙原料古紙卸(古紙リサイクル)、古着・ウエスのリサイクル、計量証明事業

電話番号：077-522-2377

URL：<http://www.kuroda-kk.co.jp/>

■ “誠実”をモットーに、古紙等のリサイクルを推進

当社は1933(昭8)の創業以来、創業者の意志“誠実”を引き継いで、事業所や一般家庭から排出される古紙と製紙メーカーにおける古紙再生とを結ぶ製紙原料古紙卸業としてリサイクルを推進しています。県内に5つの営業所(真野営業所、栗東営業所、水口営業所、草津営業所、高島営業所)を



において、どこでもいつでも対応できるように努めています。

2001年3月にISO14001を認証取得し、その環境方針の最初に【環境啓蒙・広報活動を積極的に展開し、紙のリサイクルを通じて廃棄物の削減、分別及びリサイクルを推進する】を掲げて、次のような具体的な取組みを行なっています。



- ・ 行政による分別回収の積極的推進。
- ・ 企業から排出されるオフィス古紙・機密書類のリサイクルシステム構築。
- ・ 地域住民による集団回収の積極的推進。

また、お客様からの信頼を確保するため、お客様の個人情報保護のために2006年にはプライバシーマークの付与認定を受けています。

■ 古紙のリサイクルを主力に、古着やウエスのリサイクルにも対応

当社では、事業所や一般家庭からの古紙の「集荷(回収)」⇒「選別」⇒「プレス加工」⇒「保管(右下写真)」⇒製紙メーカーへの「出荷」、を行なっています。新聞、雑誌、段ボールなどのほか、オフィス古紙(コピー紙、チラシ、名刺、封筒、包装紙、紙袋などの製本していないバラの印刷物)、機密書類、難再生古紙など、そのほか、古着やウエスのリサイクルへの対応もしています。



- ① まず、お問合せください。費用見積りや必要な場合には契約書作成をします。
- ② 一定量が貯まりましたら、ご連絡ください。
- ③ 当社又は当社と契約した業者のトラックが回収に伺います。

○ 従来の方では対応しきれない古紙（難再生古紙）への対応

難再生古紙にはクラフト紙（原料袋、包装紙）、紙管、口金付紙管、磁気性附着紙、ロール紙、ラミネート加工紙、シール台紙、カーボン紙などがあります。あらゆる紙のリサイクルを目指し、次のような開発を行なって難再生古紙に取り組んでいます。

【クローズド（循環型）リサイクルシステム】

特殊な再生設備を装備した専門業者及び製紙メーカーと提携することによって、従来のような面倒な分別作業を行なうことなくトイレットロールにリサイクルできます。例えば、書類、シュレッダー裁断紙、カーボン紙などのミックスペーパー100kgに対して、約70kgのトイレットペーパーにリサイクルできます。

【紙管（口金付を含む）、巻取り原紙】

水口営業所では滋賀県初の取組みとして紙管破砕機（下写真）、紙管口金抜き機、巻取り裁断機を設置して、紙管や口金付紙管のリサイクルへ対応しています。



○ 機密書類の扱い

普通の古紙リサイクルの流れに加えて、次のような管理を行なって、処理を確実にします。

- ・ 当社のトラックが集荷に伺い、直接地元の製紙メーカーに搬入し、溶解処理します。機密処理の管理のためにご担当者が同行して溶解処理を確認することもできます。
- ・ 溶解後、製紙メーカーより「溶解証明書」を、又は、当社より「古紙再資源化証明書」を発行いたします。

■ 古紙の分別はどこまですればよいか

紙は品質や用途によって原料の構成が異なるので、原材料として利用する古紙の分別が重要です。回収に出す段階で紙以外のものを取り除くことや再生の際に障害となる禁忌品（古紙に混入しては困るもの）を取り除く必要があります。しかし、リサイクル技術が進んでおり、次の2つを除けば、様々な紙が混ざっていてもほとんどの古紙は再生できます。

- ・ 油類のついたもの
- ・ 臭いのついたもの（石鹼、洗剤、香辛料、臭いのある原材料などの容器、包装類）

分別を徹底することは古紙の資源としての価値を高めますが、一方手間ひまがかかります。排出者による分別の手間ひまにかかるコストと古紙の再生用途や処理費用を勘案して、どこまで分別するかが決まります。

■ リサイクルの重要性を啓発するため、地域社会とともに歩む活動を推進

当社では古紙のリサイクルを通じて地域社会へ貢献すること、住民や子供たちに環境問題を身近に感じてもらうための活動をしています。

- **環境出前学習**: 自治会や小・中学校へ出張して、「ビデオ鑑賞」、「古紙リサイクルについて」、「古紙偽造問題」、「地球温暖化とごみ減量化」などのテーマで実施しています。
- **当社の工場見学**: 小・中学校の生徒、大学生、自治会、子供会など様々な年代の方々に見学いただき、好評を頂いています。
- **障害者の就業促進への取組み**: 栗東営業所の新聞選別ラインを活用して、地域の障害者作業所や施設からの実習受入れや就業支援を行なっています。
- **草津市と「愛する地球のために約束する協定」の締結**をしています。



わが国の2008年度の紙・板紙合計の製紙原料消費量は3,095万tで、原料構成比で古紙利用率は61.9%でした。また、市場の消費量に対する古紙回収率は75.1%でした。ごみの減量、資源の有効活用に大きく貢献するために、当社も尚一層リサイクル事業に邁進したいと思っています。